

第2 施策の展開

【施策体系図】

基本理念	基本目標	施策	施策の具体的方向	
「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり	<p>生きる力と「学び」性を実践し、信州ならではの創造性を育む</p>	1 未来を切り拓く学力の育成	(1) 確かな学力を伸ばす教育の充実 (2) 高校教育の充実	
		2 信州を支える人材の育成	(1) キャリア教育の充実 (2) 長野県・地域を学ぶ体験学習 (3) 世界につながる力の育成 (4) 高等教育の充実	
		3 豊かな心と健やかな身体の育成	(1) 豊かな心を育む教育 (2) 体力の向上・健康づくり (3) 幼児教育・保育の充実	
		4 地域との連携・協働による安全・安心・信頼の環境づくり	(1) 地域・家庭と共にある学校づくり (2) 教員の資質能力向上と働き方改革 (3) 安全・安心・信頼の確保	
		5 すべての子どもの学びを保障する支援	(1) いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援 (2) 特別支援教育の充実 (3) 多様なニーズを有する子ども・若者への支援 (4) 学びのセーフティネットの構築 (5) 私学教育の振興	
		6 学びの成果が生きる生涯学習の振興	(1) 共に学び合い、共に価値を創る「みんなの学び」の推進 (2) 社会的課題に対する多様な学びの機会の創出	
		7 潤いと感動をもたらす文化とスポーツの振興	(1) 文化芸術の振興 (2) 文化財の保護・継承、活用 (3) スポーツの振興	
	<p>社会全体で、すべての子どもが、良質な教育を受けられるよう</p>	<p>社会全体で、すべての子どもが、良質な教育を受けられるよう</p>		
	<p>誰もが、生涯、学び合える環境をつくり出す</p>	<p>誰もが、生涯、学び合える環境をつくり出す</p>		

※ 個人のライフステージに対応する施策の体系を参考資料として示します。【111 ページ参照】

【施策の展開の構成】

次ページからの施策の展開については、次の内容で構成しています。

現状と課題

項目ごとに、子どもたちの現状や教育を取り巻く環境、教育施策の現状や課題等を記述しています。

目指す成果

施策の具体的方向性を総括的に示す目標を設定して記述しています。

原則として、施策の受益者（児童生徒、県民、社会等）にとってどのような成果を目指すのかという視点で目標を設定しています。

主な施策の展開

目標の達成に向けて今後5年間で取り組む具体的な施策を、主な項目毎に記述しています。

成果指標

目指す成果の内容の達成度を測定する指標を記述しています。

客観性確保のために、数値による指標を設定しています。達成度の評価に当たっては、計画に記述しなかった様々な指標の活用や新たな指標の開発、様々な事例の収集等も含めて評価していきます。

参考指標（施策実施にあたって参考とするエビデンス*）

目標数値を設定せず、客観的な根拠（エビデンス）として分析し、有効に施策を実施するための指標です。

なお、参考指標を設定していない項目もあります。